

第17回（平成28年度第1回）黒部市公共交通戦略推進協議会 会議録

開催概要

- 日時 平成28年4月26日（火）14：00～16：00
- 場所 ホテルアクア黒部 ロイヤルシンフォニー
- 出席者 協議会委員19名

委員等名簿

区分	所属	役職	氏名	出欠等	備考
第6条 第2項 第1号	地域公共交通網形成 計画を作成しようとする市町村	黒部市長	堀内 康男	本人出席	会長
	関係する公共交通 事業者等	富山地方鉄道株式会社専務取締役	中田 邦彦	本人出席	
		黒部市タクシー協会長 あいの風とやま鉄道株式会社代表取締役副社長	神谷 尚機 日吉 敏幸	欠席 本人出席	
第6条 第2項 第2号	関係する道路管理者	富山県新川土木センター入善土木事務所長	米田 吉博	所長代理 浜田 守	
		黒部市長《再掲》			
第6条 第2項 第3号	関係する公安委員会	黒部警察署長	津田 良夫	本人出席	
	地域公共交通の 利用者 市民ボランティア	黒部市自治振興会連絡協議会副会長	稲垣 孝壽	本人出席	
		黒部市民生委員児童委員協議会長	沖村 武志	本人出席	
		特定非営利活動法人 黒部まちづくり協議会 ワンコインプロジェクトリーダー	菅野 寛二	本人出席	
		黒部市老人クラブ連合会長	稲澤 孝雄	本人出席	
		くろべ女性団体連絡協議会長	牧野 和子	本人出席	
	政策支援 アドバイザー	公募委員	中谷 靖子	本人出席	
	その他の当該市町村 が必要と認める者	東京大学大学院工学系研究科教授	原田 昇	本人出席	
		北陸信越運輸局交通政策部交通企画課長	高橋 智彦	本人出席	
		北陸信越運輸局鉄道部計画課長	工藤 隆志	本人出席	
		北陸信越運輸局富山運輸支局 首席運輸企画専門官	山岸 忠政	本人出席	
富山県知事政策局総合交通政策室課長		助野 吉昭	本人出席		
黒部商工会議所会頭		川端 康夫	本人出席	座長	
一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局 代表理事		川端 康夫	事務局長 坂井 英次		
YKK株式会社特別顧問		佐々 裕成	本人出席		
交通政策参与	富山県交通運輸産業労働組合協議会議長	中松 清孝	欠席		
	宇奈月商工振興会	羽柴 進一	欠席		
	東京大学名誉教授	大野 秀敏	本人出席		
	東京大学大学院工学系研究科教授	羽藤 英二	本人出席		

■事務局：黒部市総務企画部

寺嶋総務企画部長、長田企画政策課長、藤田公共交通政策班長、下坂主査、村山主任

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 経過報告
- 4 議案
 - 議案第 1 号 平成 27 年度収支決算について
 - 議案第 2 号 平成 28 年度収支予算について
- 5 報告事項
 - 報告第 1 号 交通まちづくり創生事業（地方創生加速化交付金）について
 - 報告第 2 号 富山地鉄宇奈月温泉駅バリアフリー化調査事業について
 - 報告第 3 号 黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況について
 - 報告第 4 号 愛本コミュニティタクシーのダイヤ改正について
- 6 その他
- 7 講演（政策支援アドバイザー 東京大学教授 原田 昇）
- 8 閉会

挨拶（堀内市長）

- 市長より挨拶

経過報告

- 事務局より、資料 1 に基づき経過報告

座長挨拶（川端座長）

- 座長より挨拶

議案

（1）平成 27 年度収支決算について

- 事務局より、資料 2 に基づき、平成 27 年度収支決算について説明を行った。
- 監査委員の菅野委員より、平成 27 年度収支決算が適正であり相違ないとする監査報告があった。

○川端座長

議案第 1 号について、異議が無いようなので承認させて頂いてよろしいか。

（拍手にて承認）

それでは議案第 1 号を承認する。ありがとうございました。

（2）平成 28 年度収支予算について

- 事務局より、資料 3 に基づき、平成 28 年度収支予算について説明を行った。

○川端座長

議案第 2 号について、異議が無いようなので承認させて頂いてよろしいか。

（拍手にて承認）

それでは議案第2号を承認する。ありがとうございました。

報告事項

(1) 交通まちづくり創生事業（地方創生加速化交付金）について

- 事務局より、資料4に基づき、交通まちづくり創生事業（地方創生加速化交付金）について報告を行った。

○川端座長

報告第1号は、その他意見が無いようである。

(2) 富山地鉄宇奈月温泉駅バリアフリー化調査事業について

- 事務局より、資料5に基づき、富山地鉄宇奈月温泉駅バリアフリー化調査の報告を行った。

○川端座長

報告第2号は、その他意見が無いようである。

新幹線開業以降、富山地鉄の利用者は増えているが、利用者3,000人はやはり難しいと感じている。なるべく電車を利用してもらえるよう、働きかけを行う必要がある。

その他意見が無いようであれば、引き続き進めていただくようお願いする。

(3) 黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

- 事務局より、資料6に基づき、黒部市地域公共交通網形成計画の進捗状況の報告を行った。

○川端座長

報告第3号は、その他意見が無いようである。

(4) 愛本コミュニティタクシーのダイヤ改正について

- 事務局より、資料7に基づき、愛本コミュニティタクシーのダイヤ改正の報告を行った。

○川端座長

新幹線のダイヤ変更に伴うダイヤ変更であると認識している。

○大野交通政策参与

愛本コミュニティタクシーは、愛本駅から富山地方鉄道と並行して走っている。お客を取り合うことにならないか。せつかく新しく運行するなら別ルートの方がよいのではないか。

どのような理由で地铁と並行して走っているのか。

○村山

愛本コミュニティタクシーは、愛本新地区に対して、駅・買物をするお店（イラッセ、大阪屋ショップ）までの交通手段の確保を目的に運行を開始した。愛本新地区からイラッセ、大阪屋ショップまでの経路は2経路あるが、住宅街を抜けるルートの方が需要を見込むことができる。

そのため、地铁の電車と並行する形になるが、ここを通すルートとしている。

○川端座長

報告第4号は、その他意見が無いようである。

(5) その他

●事務局より、資料8に基づき、新幹線市街地線の運行ルート再検討について報告を行った。

●新幹線生地線運行についての報告があった。

○川端座長

前回の協議でルート変更の話をさせていただいたが、現行のルートで運行すると今回報告を受けた。今までのルートに戻す形になるが、ご理解いただきたく思う。

生地線については、6月上旬の運行と報告を受けている。

○佐々委員

現在バスの準備を行っており、バスのラッピングの作業も行っている。運行が6月のいつになるかは、もう少ししたらお知らせします。

○川端座長

報告は以上となる。

高橋委員より、国の交通政策を指導されている立場から、黒部のような小さな地方都市の公共交通の維持について、何かアドバイスがあればお願いします。

○高橋委員

昨年3月に北陸新幹線が開通し、黒部市においては、黒部宇奈月温泉駅が新設された。

国の政策としては、昨年2月に交通政策基本計画が策定されている。その中で、新幹線関連の目標値として、北海道新幹線開業を通じた交流人口の拡大が4年間で10%増であるのに対し、北陸新幹線は倍の20%増の目標が掲げられており、北陸新幹線沿線の自治体には大きな期待が寄せられている。この期待にどれだけ応えていけるかが重要であると考えている。黒部市は、立山黒部アルペンルートの観光者数増加から、一定の効果が現れているといえる。

網形成計画の中で重要な課題として、北陸新幹線開業と観光2次交通の確保があり、加えて、地域公共交通を活用しながら、コンパクトなまちづくりと連携することが重要であると考えている。

富山県では、特に富山市が力を入れて取組んでいる。そのような自治体の例を活用しながら、網形成計画に定めた事業を着実に進めることが重要であると考えている。

○川端座長

その他意見が無いようである。

以上をもって、議長としての役割を終了させていただく。ありがとうございました。